

【日時】 R8.7.18（土）14：00-17：00

【会場】イオン東海店フードコート

【参加者】 6名

第142回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】デマンドタクシー「あいのりくん」の運行エリアの拡大について

デマンドタクシー「あいのりくん」の運行エリアを、村内に限らず周辺市町村まで拡大してほしい。

⇒【村長コメント】

運行エリアの拡大にあたっては、周辺市町村との協定締結が必要となる。また、周辺市町村におけるタクシー利用に影響を及ぼす可能性があることから、タクシー事業者との協議も必要となる。村としても課題を整理し検討していくが、ご意見として伺う。

【2】村内に空き缶博物館を開館したい

村内に空き缶コレクションを展示する博物館を開館したい。村内企業から排出されるゴミのリサイクル過程を紹介する展示等を行い、協賛金での運営を考えている。

⇒【村長コメント】

村でも企画展としての開催は恐らく可能だが、常設施設とする場合は場所や維持管理の課題が大きい。空き缶の展示は芸術的な側面もある一方で、ゴミやリサイクルを扱う場合は環境政策としての面も強くなり、その両方を両立させようとするとはどっちつかずとなる可能性がある。企業の協力を得る案も理解できるが、企業側にメリットがなければ協力は得られない。また、行政サービスは住民の要望やニーズを踏まえて提供するものであり、個人のアイデアだけで対応することは難しい。実現に向けて検討を進めるには、仲間や協力者を増やししながら具体的な形を少しずつ整え、村に提案書を提出するなどのステップは必要となる。アイデアとしてはおもしろいと思う。

【3】特筆すべき事項なし

【4-1】村内の飲食店について

村内にはドラッグストアが多い一方で、飲食店が少ないように感じている。回転寿司店など、村内にない飲食店を増やしてほしい。

⇒【村長コメント】

ドラッグストアの出店は、民間のデベロッパーが個人の土地を買い上げ進めているもので、飲食店等も同様に行政が誘致する仕組みにはなっていない。回転寿司を含む飲食店の誘致については、ご意見として伺う。

【4-2】小中学校における児童のサポート状況について

村内の小中学校での児童のサポート状況は。

⇒【村長コメント】

東海村教育支援センター（たんぼぼくらぶ）で支援を行っているほか、中学校には校内フリースクールを設けており、今後は小学校にも必要だと考えている。民間でもフリースクールを始めているところがあり、支援の場は広がってきている。

【５－１】「東海村街路灯及び防犯設置要綱」の見直しと新たな防犯灯設置モデルの提案について

防犯灯設置の要望については、「東海村街路灯及び防犯設置要綱」に基づき自治会からの要望を受けて実施することになっているが、現在の東海村の自治会加入率は５０％を下回っている。公平性に欠けており、制度の見直しが必要だと感じる。GIS や AI といったデジタル技術を活用した新たな手法も含め、新たな防犯灯設置モデルを提案する。

⇒【村長コメント】

昔は機能していた制度も、社会情勢の変化等により十分に機能しなくなった場合は、見直すべきだと考えている。ご意見として伺う。

【５－２】「東海村道路保全計画」の次期計画策定に係る提言について

今年度をもって「東海村道路保全計画」は最終年度を迎える。次期計画の策定にあたり、これまでの提案内容を整理した。今後求められる予防保全について、AI や GIS, DX, さらに AI エージェントなど新しい技術を活用しながら、自分なりに「東海村道路保全 DX 構想」として取りまとめたので、確認いただきたい。

⇒【村長コメント】

ご提案の内容は理にかなっており、その必要性についても理解している。現状の課題として認識しており、改善に向けた意識改革が求められると感じている。ご意見として伺う。

【６】久慈川河川敷グラウンドのトイレについて

既存の仮設トイレが汚く、子どもたちが安心して利用できない状態となっているため、きれいなトイレを設置してほしい。

⇒【村長コメント】

河川敷の管理は国が行っており、河川敷内への仮設トイレ以外の設置は難しい。堤防の外側であれば設置できる可能性があるため、担当課へ共有し、確認する。